

平成26年度 第2回ほたる多職種研修会アンケート結果

平成26年9月4日(木)19:00～21:00

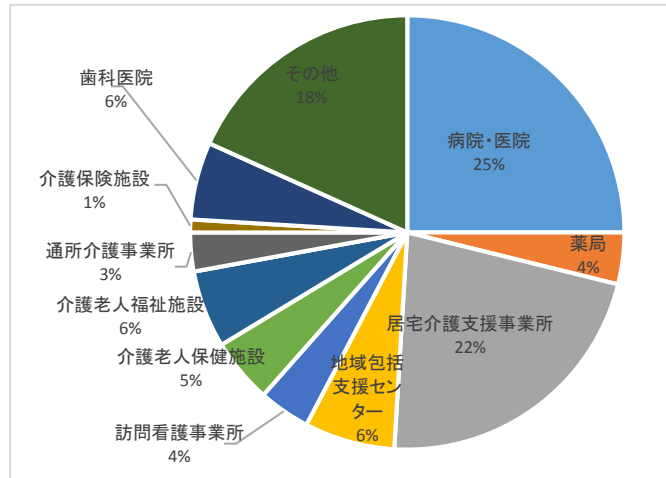
テーマ「多職種チームで支えるEnd of Life care」

講師：ケアハウスいっしょいよ 鉤持朝子先生

参加者:118名 アンケート協力者:104名 回収率:88%

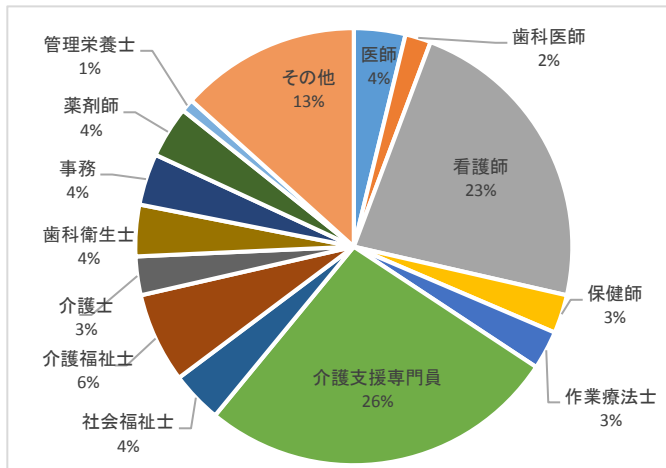
所属

病院・医院	26
薬局	4
居宅介護支援事業所	23
地域包括支援センター	7
訪問看護事業所	4
介護老人保健施設	5
介護老人福祉施設	6
訪問介護事業所	0
通所介護事業所	3
介護保険施設	1
歯科医院	6
その他	19
合計	104



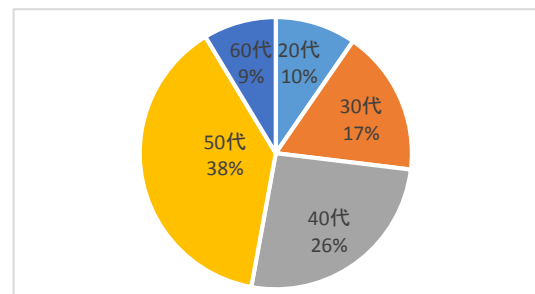
職種

医師	4
歯科医師	2
看護師	24
保健師	3
作業療法士	3
介護支援専門員	28
社会福祉士	4
介護福祉士	7
介護士	3
歯科衛生士	4
事務	4
薬剤師	4
管理栄養士	1
その他	14
合計	104



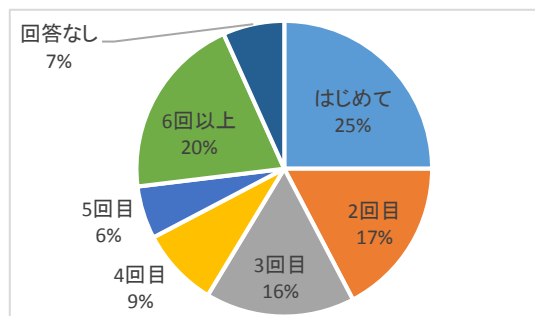
年代

20代	10
30代	18
40代	27
50代	40
60代	9
回答なし	0
合計	104



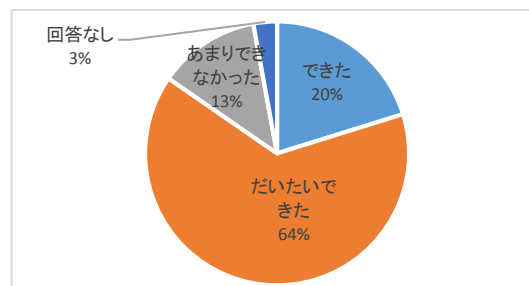
ほたる多職種研修会への参加回数

はじめて	26
2回目	18
3回目	17
4回目	9
5回目	6
6回以上	21
回答なし	7
合計	104



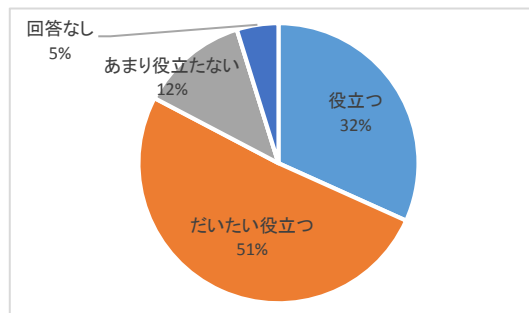
1、研修会の内容は理解できましたか。

できた	21
だいたいできた	67
あまりできなかった	13
できなかった	0
回答なし	3
合計	104



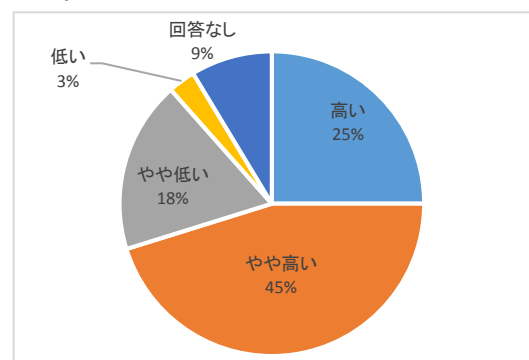
2、研修会で学んだことは実践の中で役立ちますか。

役立つ	33
だいたい役立つ	53
あまり役立たない	13
役立たない	0
回答なし	5
合計	104



3-1、研修会に参加して全体的な満足度はどの程度でしたか。

高い	26
やや高い	47
やや低い	19
低い	3
回答なし	9
合計	104



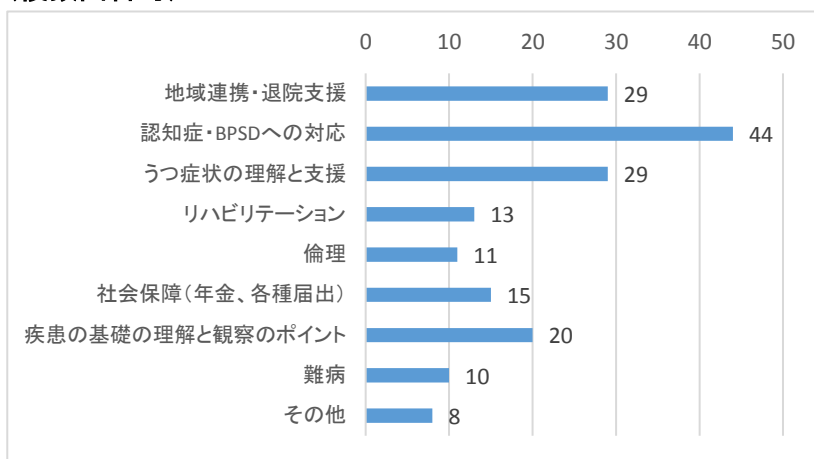
3-2、その理由をお書きください。

- ・ 思いがよく伝わってくる講演でした。
- ・ ACPの重要さは理解できますが、医師の理解が得られるか…それがネックになると思います。
- ・ ACPについて理解できたから。
- ・ 理論は理解でき、分かりやすかったが、枠組みの話中心で、ぜひとも先生の経験した事例を説明してほしい。あれが大切、これが大切…例がないとすぐ実践できない。ケース紹介があったが、流れではなくどんな会話だったか知りたい。
- ・ 言葉が多く、自分の中でうまく消化したり解釈することができなかった。
- ・ ACP初めて聞く言葉でした。必ずフォローは大事。具体例を出されて話されたのでとても分かりやすかった。
- ・ あまりエンド・オブ・ライフケアについて意識していなかったので、良い機会になりました。
- ・ 内容が抽象的すぎる。もう少し具体例を交えて説明してほしい。
- ・ 具体的な例等もっと実践的に活かした内容だと分かりやすい。(文字や理論だけでなく)多職種の具体的な関わりがみえてこない。
- ・ 理解しやすいようにきちんとした説明が聞けて良かった。
- ・ 研修内容が難しいと感じた。
- ・ ACPの支援を受けての本人や家族の声が知りたかった。
- ・ 家族に、やるだけやったという満足を感じて頂くことはこの先生きていくのにとっても大事だと考えています。
- ・ ちょっと具体性がないようです。
- ・ ケースも含めて説明して頂き、分かりやすかった。
- ・ 分かりやすく、かみくだいて説明してもらえた。
- ・ 今後、業務に活かせると思うから。
- ・ 利用者の為になるし、職員のためにもなる。
- ・ これまでにない考え方であることから、理解していきたい。
- ・ 難しい内容の為、解釈に時間がかかりそうだが、良い内容だと感じたため。
- ・ エンド・オブ・ライフケア、AD、ACP等が理解できた。

- ・医療、福祉、介護のそれぞれにかかわる会社の一員であり、今後はいろんな面で社会に貢献できる提案などでできればと考えている。
- ・連携し、良いケアをしていくための共有する理論(視点)を教えて頂きました。
- ・現在義父の介護で自宅での看取りを決断したところなので、考え方が理解でき、実践に繋がられると思った。
- ・殆どが定義の説明で終わった感があり、具体的な多職種でのチーム支援の内容が聞かれなかったため。
- ・ACPなど言葉の説明ばかりのようで、そもそもの趣旨が伝わらなかった。
- ・実際に症例を掲げてもらい、どう関わりどんな職種の方達と連携をとって対応していったか等をおりまぜながらお話を聞きたかったです。

4、今後取り上げてほしいテーマについて。(複数回答可)

地域連携・退院支援	29
認知症・BPSDへの対応	44
うつ症状の理解と支援	29
リハビリテーション	13
倫理	11
社会保障(年金、各種届出)	15
疾患の基礎の理解と観察のポイント	20
難病	10
その他	8



難病…ギランバレー症候群、
パーキンソン病

その他…

- ・ALS
- ・富山型デイ、共生ケアに関する勉強会
- ・新しい介護の仕方など
- ・デイサービスの役割、ケアマネ、ナース、介護、リハビリ、家族とうまくいっている関わり方の例
- ・精神障害者の支援
- ・グリーフケア
- ・俗に言う“変わり者”＝境界性パーソナリティ障害の見極め方とその対応の仕方
- ・高齢化に関すること

5、その他、研修内容に関する意見や感想など。

- ・エンド・オブ・ライフケア、緩和ケアの違いが分かりやすかった。ACPの必要性、人生に関心をよせる大切さに改めて気付かされました。
- ・講師お疲れ様でした。プロセスが大切であることがよくわかりました。日頃のケアをしながら患者、家族の気持ちに寄り添えるように関わらせてもらっている私達であることを意識していきたいと思います。
- ・背中をさすったというお話がとても印象に残った。人の行いが人の心や人生に響く瞬間があると思う。温かい気持ちが温かく人から人に伝わるような、そんな仕事が残せたらいいなと思った。
- ・意思決定能力の低下に備えてあらかじめ話し合うこと、状況に応じて対応できる環境を整えておくことが大切なのだと思います。
- ・ありがとうございました。(2)
- ・エンド・オブ・ライフケア、ACPがどのように解釈されるのかはよく理解できました。実際の例(やり取り、転帰、家族の話)などを紹介して頂けると、より理解が深まると思います。
- ・一昨日、他のセミナーで庄内プロジェクトの話を聞きました。在宅で死を迎えることのできる援助。その後、End of Life careの多職種のチームワークがどう進歩しているのか知りたかった。同じような言葉の繰り返しで物足りなかつたので次に期待しています。最後の話、タッチセラピーはアロマケアで患者や家族をたくさんマッサージして反応が良かったので私もたくさん体験して共感しました。
- ・難しい言葉がたくさんあった。
- ・画面を見ていることが多く、言葉が聞き取りづらい時もありました。良い内容でしたので、メリハリをお願いします。施設頑張ってください。
- ・本人にとって何が一番いいのか、本人・家族と一緒に考え、今後の見通しを立てながら支援していきたいです。ありがとうございました。
- ・自分のこととして家族と話し合うことの必要性を強く感じました。ありがとうございました。
- ・エンド・オブ・ライフケアと緩和ケアの違いも分かり、エンド・オブ・ライフケアというものがどんなものなのかよくわかりました。重要な点をしっかりと説明して頂き、分かりやすかったです。ありがとうございました。

- ・ 地域の中で、遠くに出掛けなくても、休日をとって参加しなくても、日常の仕事を終えてからのわずかな時間の中で色々なテーマの研修会、講演会に参加できるのは大変ありがたいことだと思います。地域の中に豊かな人材、システムが育っていくために、今後も企画・運営をよろしくお願いいたします。
- ・ すごく考えさせられる内容でした。今日をきっかけに、より深めていきたいと思っています。ありがとうございました。
- ・ 分かりやすかった。
- ・ ACP、ADなどの考え方を初めて学ぶ事ができ、勉強になりました。
- ・ 自分の今の仕事が一方向になっていないか、現場にいると知らず知らずのうちに介護者が中心になってしまう。今回、勉強したことを意識して、利用者やその家族と関わっていこうと思います。
- ・ 講師の、利用者・患者へのまなざしや温かさがお話の中から伝わってきました。庄内人にとっては高いハードルかもしれませんが、ケアする側にこの視点があるかないでは違うと思います。
- ・ 遅い時間に多職種の大勢の方が集まり、それだけでも意義があると思います。今後も色々なテーマで長く続くことを願っています。
- ・ ADは失敗したが、ACPでは失敗しないということでしょうか？（ACPを話し合う事で患者の意向が尊重されたという調査はありますか？）
- ・ 死の瞬間まで一緒にともに過ごすことを支えていってくれそうです。
- ・ 今度はコミュニケーションについてじっくり拝聴したいと思いました。事例では、現場でよく悩む場面の説明だったので、日常の業務で役に立つ内容だったと思います。